

研究課題名	白内障手術における眼内レンズ色覚影響の比較
研究実施機関名および 研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 眼科 医師 甘利 達明
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 眼科 甘利 達明
研究期間	承認日 ~ 2028年12月31日
研究の目的と意義	白内障手術では水晶体を除去した後に人工眼内レンズを挿入するが、自然水晶体が持つ黄色が失われることで短波長光が過剰に入射し、色覚異常が生じることが指摘されている。近年多焦点型や焦点深度拡大型など様々な眼内レンズが普及する中で、旧来の眼内レンズとの間で術後の色覚に差がないか調査する。。
本研究の対象となる方	2025年1月1日から2027年12月31日までの間に当院で白内障手術を施行された患者
提供していただく情報	年齢、性別、既往歴、治療内容、受診日、転帰、検査情報
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 眼科 氏名：甘利 達明 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111